

2019年6月11日

松阪市議会議長 中島清晴様

国に対し、消費税増税中止の意見書を求める請願

請願人 松阪市新座町 1056

松阪・多気地域社会保障推進協議会

会長 内田茂雄



紹介議員

栗谷建一郎



西口真理



殿村峰代



田中正若



海佐恒幸



請願趣旨

新年度に入ってから経済動向をみると、安倍政権が実施予定の10月からの消費税10%への引き上げは、経済を疲弊させ、経済を破綻させるものということがさらにはっきりしてきたと言わざるを得ません。

これまでの消費税増税は、いずれも景気が好転したとされる時でした。5月13日に発表された内閣府の景気動向指数が6年ぶりに「悪化」ということになりました。アベノミクスの破綻が客観的に証明されたと言えます。「悪化」の時に増税を行ったことはかつてありません。こんな経済状況の下では消費税の増税は中止すべきではないでしょうか。

世論調査を見ると、5月3日の朝日新聞では10月からの消費税引き上げに「反対」65%、賛成27%でした。

4月18日の自民党萩生田光一幹事長代行の増税延期の可能性の発言をはじめ安倍政権関係者からも増税への懸念や延期の主張が表明されています。こういう発言が出るということは、今からでも10%増税は中止できるということではないでしょうか。

市民の暮らしや営業の現状を踏まえて、国に対し「消費税10%増税中止」を求める意見書を出していただきますよう請願します。

請願項目

- 1、国に対し、消費税増税中止の意見書を提出すること

